

日本海ケーブルネットワーク株式会社
(以下「NCN という」)

2005 年第 1 回放送番組審議会
議事録

開催日時：2005 年 3 月 10 日 (土) 11:30 から 14:00

開催場所：鳥取県鳥取市富安 日本海ケーブルネットワーク株式会社 6 階会議室

在任審議委員数：9 名

出席審議委員氏名	山内 益夫	(会長)
	豊嶋 潤	(副会長)
	江本 克也	
	森 徹郎	
	松下栄一郎	
	山中 英雄	
	山下 恭史	
	天野 典子	
	畑山 博史	(順不同 敬称略)

その他 NCN からの出席者

徳田 真吾	(取締役局長)
溝口 修	(プロジェクト室室長)
長田 弘彦	(編成制作部チーフプロデューサー)
青木 雅彦	(営業部チーフマネージャー)
上原 啓介	(総務部総務広報担当)

議案：

- 1) 会長 副会長選出
- 2) 会社概要
- 3) NCN サービス内容について
- 4) 自主制作番組について
(下記の番組について審議会中、VTRで放映した。)
「Cue Up9」
「とっとリンク」
「さんいん TODAY」
「鳥取県情報ハイウェー開通記念番組」

審議の概要

(以下○印 審議委員からの意見、●印 NCNからの出席者の回答)

会長に山内益夫氏 副会長に豊嶋 潤氏が推薦され、満場一致で選出される。その後NCNより会社概要の説明、事業の説明が行われた後、自主制作番組について審議が行われた。

「Cue Up9」について

- 30分のリピート放送の時間や内容がわかりにくい。もっと告知してわかりやすくしてほしい。新聞告知やホームページなどでも情報をもっと出すほうがいい。
- 放送項目をテロップで示してくれたら内容が分かりやすくなるのでは？
- ニュースを読む時の目線が下がるのが気になる。

●できることから改善していく。プロンプターなどの導入などで可能なものは導入を検討していきたい。

「市議会中継」について

- 議会の休憩時間に、次の再開時間を早く伝えてほしい。
- 倉吉市で現在ケーブルテレビ未開局地区の方の間で、市議会中継を見たいという要望が非常に高い。議場にも傍聴席が用意されているが、自宅のテレビで視聴できる場所は期待の高いところだ。
- 議会中継の再放送では、議員の名前と質問時間の案内があれば、効率よく視聴できるが対応できないだろうか。
- 県議会の中継も期待する。

●議会中継の際の議会再開時間の案内は確定した段階でお知らせできるようにしたい。県議会については近く、ハード的な実験に入り、できるだけ早く実現できるようにしたい。

市町村合併について

○鳥取市は平成16年11月に合併したが、新市に合併した地区の情報も取り上げてほしい。鳥取市では平成18年開局を目指してCATV網を新市全域に建設を予定しているが、新しいエリアも取材してほしいとの期待が市民にはあると思う。

●できる限り努力する。

番組一般について

- 鳥取県の歴史上の人物など、地域を深く掘り下げた番組を制作してほしい。
- 番組制作をしているスタッフをもっと地域にPRしてほしい。
- エリア内にある大学の公開講座なども地域住民から要望が高いと思う。
- ケーブルテレビのコミュニティチャンネルは、知っている人が出演していたり地域の人たちにとってふるさとを再発見してもらう役割があると思う。ローカル限定の有名人にスポットをあてて、深く追いかけていくドキュメントなどを期待する。

○NPOやボランティアなどの活動の中で告知と募集に関するコーディネーターとしての役割を担うにはNCNは最適なポジションにいると思うが、現状では不十分。ボランティアコーディネーターとしての役割を期待する。

●皆さんの意見、要望を参考に、できるところから番組づくりに役立てていきたい。

日本海新聞との連携について

○新聞では情報不足な話題を深く掘り下げていくような特集や、記者が登場してニュースについて解説する番組などもあっていいと思う。

○日本海新聞のイベントガイドなどもTVでももっと告知したらいいと思う。

●新聞社とのメディアミックスを進めていきたい。

デジタル化について

○デジタル化の際に、外部からの情報提供などに対してオープンなシステムを導入できないだろうか。デジタルの仕組みを使ったオープンなネットワーク作りを目指してほしい。

○議会中継などのVOD（ビデオ・オン・デマンド）なども期待している。

●デジタル時代に技術的に可能になることは、積極的に取り組んでいきたい。またパブリックアクセスチャンネルなど先行して実施しているCATV局もあるので、参考にしつつ住民参加型の仕組みを取り入れるよう検討したい。

メディアリテラシーについて

○PTA活動のなかで、メディアリテラシーの問題に取り組んだが、参観日に社会人の講師を呼んで子供に話をしてもらった授業の中でNCNの担当者にも話をしてもらったが、子供たちに大変好評だった。テレビを観ている子供の目線も大切にする番組を心がけてほしい。

●多メディア時代に、その情報が本当かどうか判断できる能力は重要だ。子供たちの職場体験なども積極的にNCNは取り組んでいこうと思う。

以上をもって本会議は審議すべてを終了したので14:00閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。

(記述責任者：総務部 上原)